

2022. 2. 7

報道関係者 各位

< 配信枚数2枚 >

人文科学研究所主催シンポジウム

「Dxの光と影——デジタル革命の人文・社会科学」開催

日 時：2022年2月22日（火）13：00～16：00

開催方法：オンライン（Zoom Webinar）

立命館大学人文科学研究所は、2月22日（火）、シンポジウム「Dxの光と影——デジタル革命の人文・社会科学」を開催いたします。

Dx（デジタル・トランスフォーメーション）とは未来のことではなく、まさに現在生じつつあることです。産業用ロボットからチャットボット、自動運転車から軍用ドローンにいたるまで、デジタルテクノロジーは、家族や恋愛などの人間関係の最も親密な側面から、コミュニケーション、仕事や雇用まで、私たちの生活のあらゆる側面を変えつつあります。

本シンポジウムでは、社会学、メディア論、地理学など人文・社会科学の諸理論を通して、自動化されたインテリジェントマシン、予測アルゴリズム、先進的なロボット工学、ビッグデータなどが日常生活や現代社会にどのような影響を与えているかを探ります。サウス・オーストラリア大学の社会学教授・アンソニー・エリオット氏による基調講演やパネルディスカッションを通して、いま生じつつあるDxは私たちに一体何をもちたらしめていくのか、人文・社会科学が喫緊に考えていくべき問いについて、参加者のみなさんとともに考えます。

記

日 時：2022年2月22日（火）13:00～16:00

開催方法：オンライン（Zoom Webinar）

言語：日本語／英語（同時通訳有）

参加費：無料

申込方法：<https://forms.gle/WE7dad8Dkv6yhQwn9> よりお申し込みください。

【締め切り:2022年2月21日（月）17:00】

主 催：立命館大学人文科学研究所・重点研究プログラム「グローバル化とアジアの地域」

※詳細は別紙をご覧ください。

以上

本リリースの配布先：京都大学記者クラブ

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学衣笠リサーチオフィス 担当:野村

TEL.075-465-8225

<http://www.ritsumeai.ac.jp/research/ihss/>

<プログラム> ※敬称略

13:00 開会挨拶、アンソニー・エリオット氏(※)紹介

遠藤英樹(立命館大学 文学部 教授)

13:10 基調講演

「AI の社会学——現在と未来のはざままで (THE SOCIOLOGY OF AI: BETWEEN SYSTEMS AND FUTURES)」

アンソニー・エリオット(サウス・オーストラリア大学)

14:20 パネリストによる発表

アンソニー・エリオット

須藤 廣(法政大学大学院 政策創造研究科 教授)

松本健太郎(二松学舎大学 文学部 准教授)

神田孝治(立命館大学 文学部 教授)

遠藤英樹 ※兼:コーディネーター

15:20 ディスカッション

山本理佳(立命館大学 文学部 准教授)

上記パネリスト

※アンソニー・エリオット(Anthony Elliott)氏プロフィール

サウス・オーストラリア大学の社会学教授。同大学で「Hawke EU Jean Monnet Centre of Excellence」所長もつとめる。アンソニー教授は、社会理論や現代社会学にとって非常に重要な業績を世に送り出してきた。著書・編著には、ジョン・アーリ氏との共著『Mobile Lives』(ミネルヴァ書房より『モバイル・ライヴズ』として2016年に翻訳が出版)、『The Culture of AI』(明石書店より翻訳が近刊)のほか、『Making Sense of AI: Our Algorithmic World』(2021, Polity)、『The Routledge Social Science Handbook of AI』(2021, Routledge)等がある。また『Algorithmic Intimacy』がPolityより2022年度に刊行予定。